



入選作
「せんこう花火」

全国応募数
1万205編



鷺宮小学校4年 藤田 絵実瑠さん

平成28年
(2016年)
3/10



No.340

地域ニュース

編集・発行 鷺宮区民活動センター運営委員会

〒165-0032 中野区鷺宮3丁目22番5号 電話:3330-4127 FAX:3330-4131

[題字は長谷川昂氏]

E-mail:nakano_saginomiya@nifty.com

http://www.nakano-saginomiya.gr.jp/



※なかの区報No.1941 11月20日号より抜粋

「鷺宮文化村」ふるさと鷺宮」冊子完成

構想から三年、今月発刊

待望の「鷺宮文化村」ふるさと鷺宮」がいよいよ発行されます。

平成25年度鷺宮区民活動センター運営委員会の指定事業としてスタートしました。刊行にあたっては地元の方々より資料の提供やご意見などのご協力をいただきました。

鷺宮地区は、田園地帯から住宅地への変貌の過程で多くの学者、政治家、作家、音楽家、画家などがこの地に居を構えました。江戸時代の上鷺宮村・下

鷺宮村から現在までの歴史と文化、明治時代から現在活躍されている文化人までを美しいカラー写真や絵画などで彩り、大人も子供も楽しめるよう工夫してあります。

鷺宮は、江戸時代から豊かな自然に恵まれ、田んぼの真ん中を流れる妙正寺川にはメダカや鮒などが生息し、田んぼの中には蛙・白鷺そして雑木林には蝉や小鳥など多くの生物がいます。

田畑の作物水稲、陸稲、野菜などは、江戸に運ばれ商いをしていました。昭和38年8月妙正寺川が氾濫し鷺宮駅は島のようになり孤立したこともありま

す。これは宅地造成により田が埋め立てられたことによると文献にはあります。豊かな農村地帯から住宅地へと変化してきた鷺宮。現在居住されている人、初めて鷺宮駅に降り立った人もこの冊子を手にも歴史的建造物を見学したり、鷺宮

をもっと知って頂けたら幸いです。



「鷺宮橋より富士山を望む」 小谷津雅美 画

【発行・問合せ】
鷺宮区民活動センター運営委員会
電話 3330-4127

鷺ノ宮駅周辺まちづくり準備会立ち上げ

野方駅〜井荻駅間の踏切対策等早期実現へ

町会・自治会や商店街の代表と中野区が「鷺ノ宮駅周辺まちづくり対策」の検討会立ち上げに向けて、2月にその準備会を開催しました。これは、鷺ノ宮駅周辺の再整備により、より魅力的で活力ある安全・安心なまちづくりを目的としたものです。

西武新宿線では中井駅か

ら野方駅間の連続立体交差の地下化工事はすでに始まっており、新井薬師前駅や沼袋駅そしてトンネルの出入り口となる箇所での路線の移設や杭打ち作業が進行しています。しかし、野方駅から井荻駅間の「開かずの踏切」対策などは未だ見通しは立っていません。そこで、野方駅・都立家

政駅・鷺ノ宮駅の各駅ごとに検討会組織を設立し、鷺宮地区の再整備に向けての「まちづくり対策」の実現化を目指しています。

野方駅から鷺宮地区にかけての「開かずの踏切」解消などを始めとする「住みよい安全なまちづくり」に向け地域住民の皆様の協力を期待しています。

18歳選挙権

中野区明るい選挙推進協議会

会長 佐藤 博(鷺宮四丁目在住)

平成28年は選挙の仕組みの変わる年になります。18歳選挙権の導入です。私共中野区明るい選挙推進協議会は、各町会・自治会より選ばれた推進委員の皆さんと共に、選挙に関する啓蒙と棄権防止に携わっています。

今夏の参議院選挙から、選挙権が18歳に引き下げられ、高校生の一部が有権者です。そこで学校側も高校生の主権者教育が必要になり、新たな24万人有権者の対応には「政治と選挙権」についての理解が望まれます。従来から高齢者に比べ、低年齢層の投票率の低さが、投票率を下げていました。

中野区では、「18歳選挙権」に関連し、昨年11月5日に公開政治講座「鍵は地域への関心にある。」と題して、NPO法人ユースクリエイト代表 原田謙介氏を招き、新成人式には「選挙アンケート」と「模擬選挙」を実施しました。新成人出席者千数百人の内、アンケート220人、投票に440人が参加されました。

学校側の政治的中立性を保つため「教育基本法」があります。文部科学省では現実の「政治課題を扱う授業」への転換を推進しています。

新有権者は2%に過ぎませんが、投票率の低落に歯止めをかけて戴きたい。棄権防止が政治を動かすのです。

未来を託す若者達へ!

